

- 1 開催名称 伊勢崎市中心市街地の活性化に係る意見交換会
- 2 開催日時 令和4年12月23日（金）午後1時50分から午後2時55分まで
- 3 開催場所 伊勢崎市地域交流センター赤石楽舎会議室
- 4 出席者
 - (1) 伊勢崎市 臂市長、藤原副市長、下城副市長
 - (2) 伊勢崎郵便局 田中局長
 - (3) 株式会社JR東日本ステーションサービス 前橋駅務管区 大谷副管区長
 - (4) 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社 前橋営業統括センター 中見川貴弘副所長
 - (5) 東武ステーションサービス株式会社 太田駅管区東武伊勢崎駅 難波駅長
 - (6) 伊勢崎市職員
 - ア オブザーバー 久保田都市計画部長、山田都市計画部副部長、
新井中心市街地整備事務所長、
定形商工労働課長、石原商工労働課長補佐
 - イ 事務局 細井企画部長、小此木事務管理課長、土谷行政改革係長、齋藤係長代理
- 5 意見交換の概要（以下のとおり）

- 1 開会 細井部長
- 2 市長挨拶概要

伊勢崎駅前広場の活用、（仮称）伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターの建設、伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業の3つの核により中心市街地の活性化を図っていくため、中心市街地に事業所を置く伊勢崎郵便局、JR伊勢崎駅及び東武鉄道伊勢崎駅の関係者の皆様と、より連携強化を図り、中心市街地のにぎわいを創出していくため、貴重な御意見等をお伺いするための意見交換会を開催するものです。
- 3 出席者自己紹介
- 4 意見交換
 - (1) 事務局説明 小此木事務管理課長
 - ・伊勢崎市中心市街地にぎわい創出拠点整備事業の概要について
 - (2) 参加者からの意見概要
 - ア 伊勢崎郵便局 田中局長
 - ・市民病院周辺は買い物も便利で伊勢崎市は住みやすい、県外の人間の感覚では、中心市街地から連取町周辺まで徒歩圏内である。
 - ・学生の方が多く、自転車で行きかう方が多いため、自転車も通りやすいような歩道等の整備をお願いしたいと考える。
 - ・駅周辺は自転車が多いという印象である。高崎の取組みなど自転車を駅で借りて乗り捨てられるような仕組みもあれば、回遊する方が居るのではないかと思う。
 - ・地域の皆様の様子から、高齢者も車を運転する地域性であるため、高齢者も停めやすい駐車場等、利用しやすい施設の整備を進めていただければ有効と考えるし、交通の面でも高齢者が便利で利用しやすいという視点は重要であると感じている。
 - ・学生の方が図書館などを多く利用することで、にぎわい創出に繋がると考えるため、図書館がより魅力的で立ち寄りやすい場所となれば良い。
 - ・人が出歩くきっかけとしては、郵便物の差出し及び受取り、またATMを利用されるお客様が多い。
 - ・伊勢崎郵便局の南側の通りや駐車場から郵便局までの通りに立ち寄ってみたいくなるお店やスポットができると、郵便局に来るお客様が街を歩くようになると思う。現状は、そのような店舗が少ないため、お客様は群馬銀行を行き来する程度で帰宅してしまう方が多い印象

で、周辺のにぎわいには繋がっていないように感じる。

- ・一方で郵便局の駐車場に停めて商店に行く方もいらっしゃる状況もあり、「短時間でお願いします。」と声をかけている状況である。
- ・伊勢崎市は店舗が散在しているため、中心市街地には、これがあるという何かがあるのにぎわいに繋がると考える。

イ 株式会社JR東日本ステーションサービス 前橋駅務管区 大谷副管区長

- ・伊勢崎駅は駅舎が新しくなり、新しい街が形になっていく段階であり可能性を感じている。
- ・JR伊勢崎駅をご利用のお客さまの行き先としては前橋や高崎方面が多く、2021年度の1日当たりの駅のご利用者数が前年度よりおよそ500人増加している。これからまだ進化していける駅であると期待している。
- ・現在は学生の皆様のご利用が多いが、子育て世代向けの施設新設によりご家族連れのお客が増え、新たなにぎわいの創出に繋がれば良いと考える。
- ・いせさき花火大会や駅前でのイベント時は、両毛線沿線から大変多くのお客さまにご利用いただいている。今後もイベント等により伊勢崎市の魅力がさらに向上し、駅周辺や中心市街地のにぎわいに繋がると期待している。

ウ 東日本旅客鉄道株式会社高崎支社 前橋営業統括センター 中見川副所長

- ・前橋市では、駅と中心市街地間のバス路線案内が工夫されており、市外から来る人にとってもわかりやすいと感じる。伊勢崎市も駅と中心市街地間の移動方法や案内を工夫することで、駅を降りた人が回遊しやすくなるのではと考える。
- ・両毛線に関しては、沿線一体を県外にPRすることで、首都圏などから沿線に来ていただくという視点も大切と考える。例えば、県内の鉄道が1日乗り降り自由となる「ぐんまワンデーパス」という切符を各鉄道事業者と連携して展開しており、こうした企画を通じて多くの方にお越しいただくとともに、今後も沿線と連携したPRが非常に重要と考えている。
- ・伊勢崎駅は東武線との接続駅であり、両毛線の重要な拠点駅の一つである。利用者も多く、中心市街地の活性化により更なる利用増につながると考えており、今回のような機会を通じて、引き続き連携して取り組んでいきたい。

エ 東武ステーションサービス株式会社 太田駅管区東武伊勢崎駅 難波駅長

- ・赤堀菖蒲園をメインとしたハイキングを実施いたしました。2020年は新型コロナ感染防止のため中止となりましたが、その翌年から再開しており好評を得ております。このハイキングは、当社沿線の観光地を巡るハイキング企画として開催しております。
- ・浅草や北千住など、都心から伊勢崎線を利用して、両毛地区を周遊できる企画券を発売している関係で、伊勢崎市の観光地や飲食店をパンフレットに掲載しております。今後の集客に関して、伊勢崎市を広く周知できる一つのツールになると考えます。
- ・中心市街地を何とかしたいという伊勢崎市の熱意は強く感じましたので、協力できる部分を、ご相談しながら前向きに進めていきたいと考えます。
- ・境町駅や新伊勢崎駅から前橋、高崎への乗車について尋ねられることが多く、特に当社の駐車場を利用するお客様からの問い合わせは多い。

オ 臂市長

- ・伊勢崎駅からシンボルロードと商店街を軸としてにぎわいを創出して行けるよう、取り組んでいるところである。
- ・引き続き駅を利用する方の暑さ対策として、ミストの設置等の対策を実施していきたい。
- ・他の駅と比較して、学生の方の利用が多い点が伊勢崎駅の特徴と考える。学生がまちなかを回遊できるような中心市街地になればよい。
- ・伊勢崎駅から華蔵寺公園へ歩いて出かける市外の方が多いといった話もあり、駅から華蔵寺公園への歩道整備も取り組んでいきたい。
- ・電車で市外から来る方のためにも、伊勢崎駅と観光拠点となる場所の接続をしっかりとやっていくということが大切であると実感している。
- ・伊勢崎駅を利用する高校生は非常に多いと認識しており、駅を利用する学生たちが、電車の待ち時間に時間を潰したり、まちなかを回遊できるような待ち時間対策というものも有効であ

ると思う。

- ・市民の声からは、りょうもう号で東京へ行く場合は、本庄早稲田駅から新幹線で行くより時間がかかるとの意見があり、伊勢崎南部にお住まいの皆さんは、特に本庄早稲田駅が定着している印象がある。東武線については伊勢崎駅が東京まで直結しているという強みを出すことで、中心市街地とともに駅としての魅力を上げていけるよう取り組んで行きたい。
- ・かつて伊勢崎町の先人が、伊勢崎城があったこの場所に、伊勢崎駅を誘致したという歴史を踏まえて、先人の思いを胸に「コンパクトシティ」といった「歩いて楽しいまちづくり」を目指し、今一度中心市街地ににぎわいを創出できるよう取り組んで行きたい。

カ 藤原副市長

- ・伊勢崎市はとても住みやすいまちだと実感しているが、市街地整備の成果が出るような取組が必要であり、伊勢崎ならではのカラーを出して、にぎわいを出していければと考えている。
- ・中心市街地を歩いて訪問してみようと思えるようなにぎわい創出に取り組んで行きたいため、引き続き皆様のお知恵を拝借したい。

キ 下城副市長

- ・車社会で普段は公共交通機関を利用することが少ないが、電車を利用して街を歩きイベントなどに出かけてみると、新たな発見があると感じている。イベントと電車利用の連携など、連携強化していければよいと思う。回遊できるような場所が沿線に整備されれば良いが、現状は点在している印象がある。市民の方が歩いて新しい発見があるような中心市街地にして行ければと考える。

5 閉会 細井部長

(終了：午後2時55分)